

2022年度 学校関係者評価委員会 報告書

12月初旬にマチコミアプリを利用して保護者へのアンケート、2月に教職員の自己評価を基に、3月に学校関係者評価委員会を書面で行ったことをご報告させていただきます。

《学校関係者評価委員会で頂いた声》

○全般について

- ・アンケート回答率がどの学年も90%以上である為、集計結果から信憑性の高いアンケートであると考えられる。
- ・教職員の自己評価が十分されており、自己評価から分析すると、教職員の意識の高さが感じられる。また、教職員は、愛情深く、子どもたちへの対応も丁寧で愛情を感じる。主だった意見については自己評価内で反映されている。

○環境について

- ・子ども達自身の選択が尊重され、自分のしたいこと、得意なことを存分に伸ばせる環境が整っている。
- ・園庭の植物、野菜の栽培をはじめ、子ども達の興味点に合わせ、ワクワクするような環境が準備されている。

○教育内容について

- ・園の教育方針の要である、モンテッソーリ教育に多くの保護者が賛同しており、縦割り保育、同年齢の横割り保育の良さが生かされた保育を行っている。
- ・縦割り保育の中で育まれている、園児の成長（誰とでも優しく接する子どもになった、社会性が生まれた、様々な活動に積極的に取り組み達成感から出る姿、知識の向上がみられる姿）を通して証明されている評価である。
- ・給食献立の内容、取り組みには満足している。

○カトリック園として

- ・カトリック園として、日々の園生活の中で、体力、精神、社会面に加え、キリスト教の教えの中でスピリチュアル面でも子ども達の発達を支えている。

○保護者へのマチコミアプリを利用した配信、コミュニケーションについて

- ・園からの発信内容は、丁寧で親切なのは理解できるが、結果、文字数が増え、重要な内容を見落とす結果となっている。もっと、簡素にまとめ、重要な部分を強調する工夫をしてはどうか。
- ・マチコミアプリのタイムラインでの子ども達の日々の生活や活動の様子等の報告（写真付）があり、園での様子が伝わり、よく分かるようになった。行事だけではなく、日常保育の様子もタイムラインに載せるとよく伝わると思われる。
- ・紙媒体のお知らせに加え、マチコミアプリでの連絡事項の活用により、分かりやすくなった。

～更によりより幼稚園づくりをしていくための今後の課題～

- ・幼稚園特有の仕組み、用語等の説明、また、様々な家庭の捉え方、理解度を考慮し、分かりやすく伝えるよう努める。
- ・子どもたちの成長の喜びを保護者と共に分かち合い、保護者と共に子どもから学ぶ姿勢を今後も大切にしていきたい。
- ・子ども達にもっと自然に触れる機会、五感を使った活動の場を増やし、ワクワク生き生きとした園生活が送れるよう、教職員の瞳も輝かせ、保育環境の充実を図っていきたい。

～今後の検討事項～

- ①無回答者が数人いる為、無回答の理由の分析 ②学年が上がるにつれ、評価が低下する原因究明 ③入園者数減少に伴い、幼稚園を選ぶ際、保護者は何を園に期待し、選んでいるのか等、分析が必要である。

子どもたちが安心して、生き生きと生活できる場を設定し、また、園の方針を分かりやすく伝え、園と保護者、園と子どもの信頼関係を築いていくことができるように、今後も職員一同努めていきたいと思っております。